

2019年度 3-5月期 業績概要

注意事項

- 当社は2019年度より、グループ内の機能最適化や生産性向上を目的とした組織変更を行い、セグメント区分の見直しを行っています。加えて、管理区分の見直しも併せて行い、仕向け先の国・地域の分類を変更しています。これにより2018年度の数値は、変更後のセグメント区分および仕向け先の国・地域の分類に組み替えた上で算出しています。(P17,18参照)
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2019年3月1日～2019年5月31日)

1. 2019年度 3-5月期 連結決算

- 2019年度 3-5月期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上高構成比
- 仕向先別売上高 / 売上高構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2019年度 3-5月期の取り組み

2. 2019年度 通期 連結決算見通し

- 2019年度通期 見通し

3. 参考資料

- セグメント変更による過年度の組換表示
- 仕向け先変更による過年度の組替表示
- 設備投資,研究開発費,為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 連結売上高・営業利益推移
- 四半期連結売上高推移
- 四半期連結受注推移
- 主要生産拠点

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ

など



ACサーボ
Σ-7シリーズ

安川インバータ
新シリーズ



GA500



マトリクス
コンバータ
U1000

GA700

ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接, 塗装用途向け
 - FPD搬送, ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオ・メディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット

など



新小型ロボット
MOTOMAN-GP8



新型7軸アーク溶接
ロボット
MOTOMAN-AR1440E



人協働ロボット
MOTOMAN-HC10DT
防じん・防滴仕様

システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 大型風力発電用電機品
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 鉄鋼プラント用電機システム

など



大型風力発電用
発電機とコンバータ



太陽光発電用
パワーコンディショナ
XGI1000 65kW



上下水道用
電気計装システム



連続鋳造設備

その他

【主要製品】

- ・ EV用モータドライブシステム
- ・ 物流サービス

など

1. 2019年度3-5月期 連結決算

2019年度 3-5月期 実績（連結）

• 高い水準にあった前年同期に対して減収減益

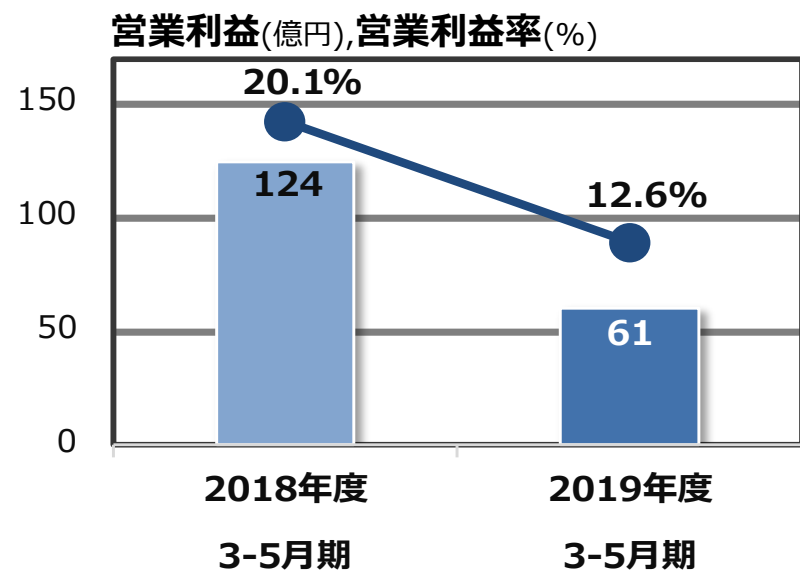
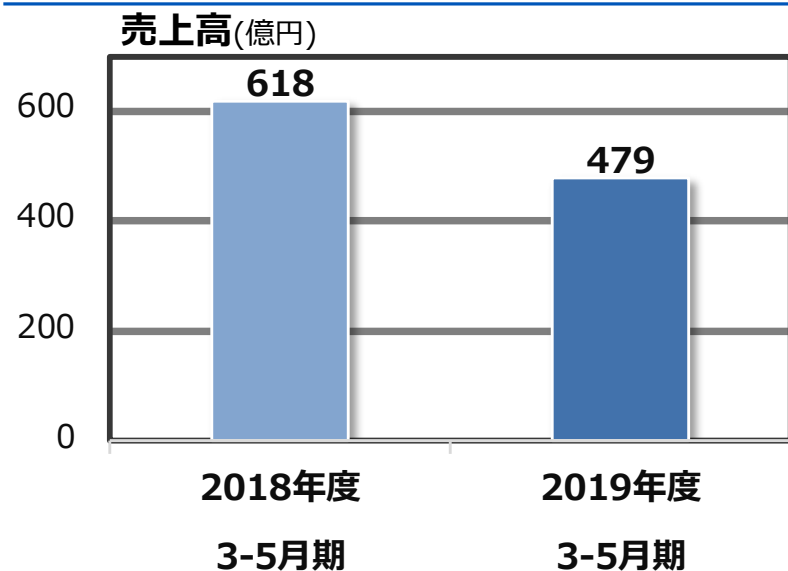
	2019年度 3-5月期	2018年度 3-5月期	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売 上 高	1,074億円	1,282億円	▲208億円	▲16.2%
営 業 利 益	72億円	172億円	▲100億円	▲58.2%
経 常 利 益	69億円	168億円	▲98億円	▲58.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	47億円	157億円	▲110億円	▲70.0%

2019年度 3-5月期 実績（セグメント別）

- モーションコントロール・ロボットを中心に減収減益
- システムエンジニアリングは堅調

	2019年度3-5月期		2018年度3-5月期		前年同期比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上高	1,074		1,282		▲208	▲16.2%
モーションコントロール	479		618		▲139	▲22.5%
ロボット	391		439		▲48	▲10.9%
システムエンジニアリング	146		119		+27	+22.6%
その他	57		106		▲48	▲45.6%
営業利益	72	6.7%	172	13.4%	▲100	▲58.2%
モーションコントロール	61	12.6%	124	20.1%	▲64	▲51.4%
ロボット	18	4.6%	50	11.4%	▲32	▲64.3%
システムエンジニアリング	▲2	▲1.1%	▲4	▲3.2%	+2	-
その他	▲1	▲1.3%	6	5.7%	▲7	-
消去または全社	▲4	-	▲5	-	+1	-
経常利益	69	6.5%	168	13.1%	▲98	▲58.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	47	4.4%	157	12.3%	▲110	▲70.0%

主要事業の概要_モーションコントロール



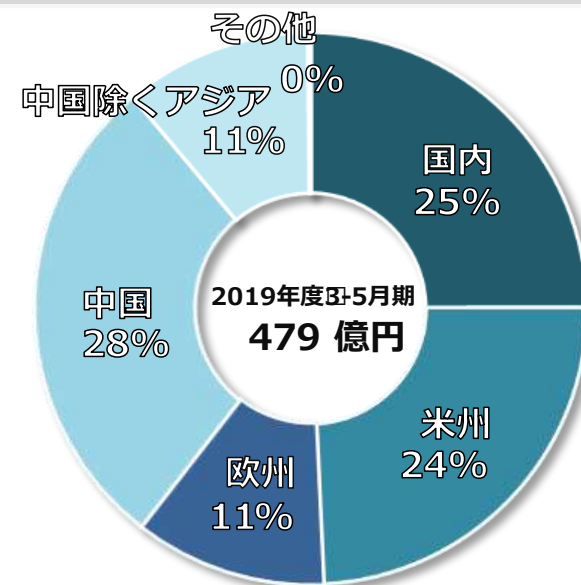
【売上高】

- ACサーボは半導体市場全般の投資先送りの影響や、米中貿易摩擦の影響拡大などにより、高水準だった前年同期に対して減少
- インバータは米国オイル・ガス関連需要を受け堅調

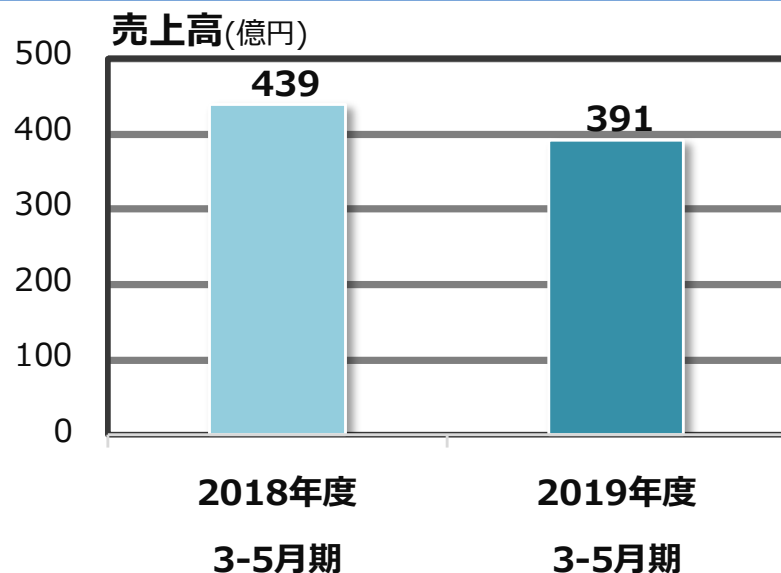
【営業利益】

- 前期半ばからの需要減速が続き、ACサーボの売上高がグローバルで減少したため、営業利益は減少

仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_ロボット

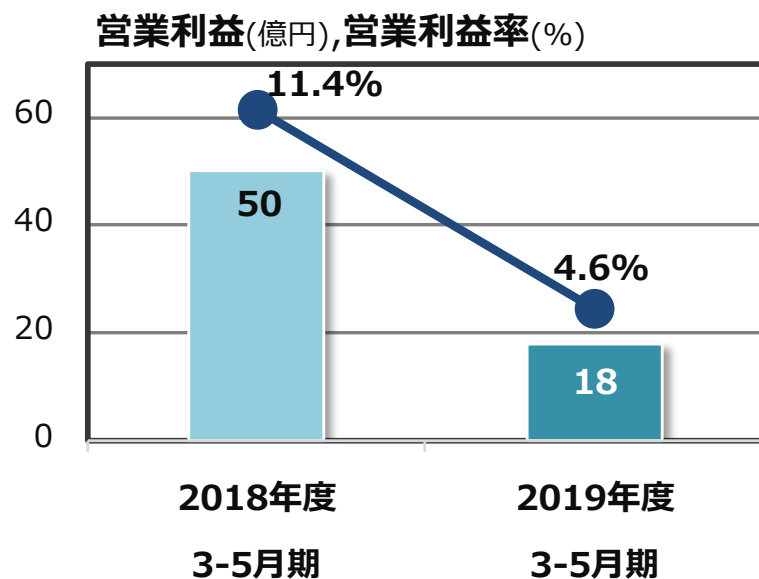


【売上高】

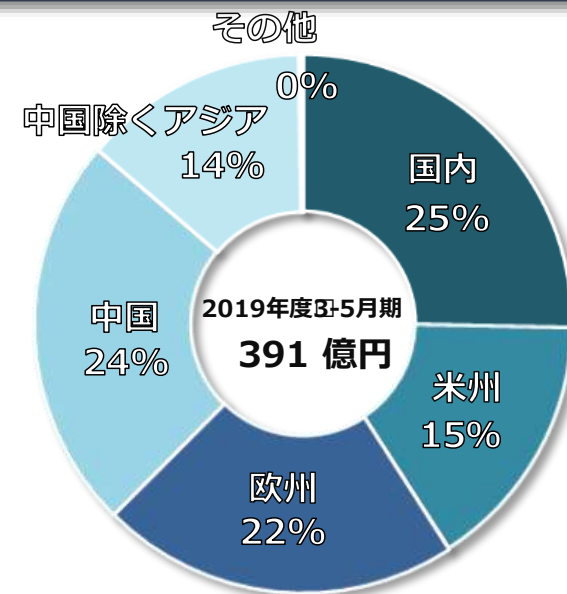
- 自動車関連は日本・欧州などで底堅く推移した反面、米州などで伸び悩む
- 一般産業分野での自動化投資は勢いを欠く状況が継続

【営業利益】

- 生産量の低下による操業度の悪化などにより、前年同期から減少

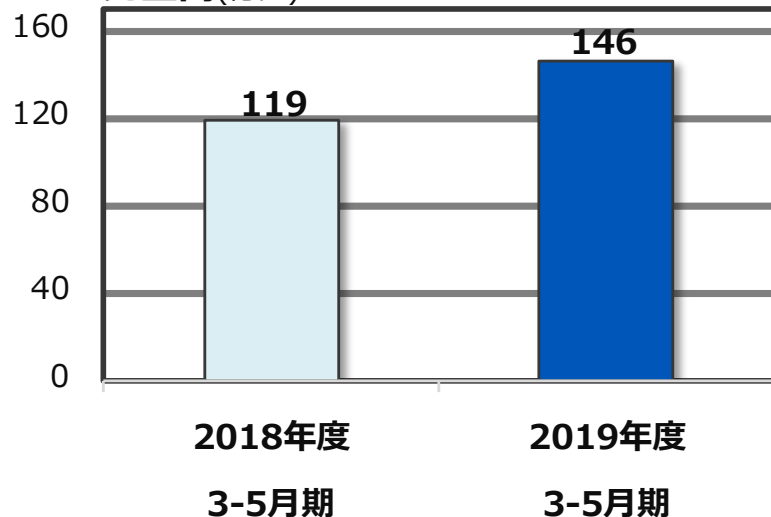


仕向先別売上高構成比



主要事業の概要_システムエンジニアリング

売上高(億円)



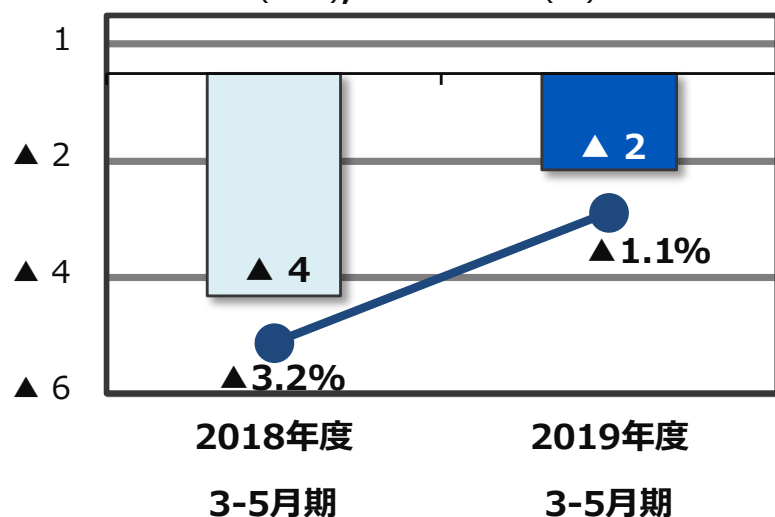
【売上高】

- 大型風力発電用電機品の売上が伸び悩むも、太陽光発電用パワーコンディショナの販売は堅調
- 鉄鋼プラント関連や社会システム関連も底堅く推移

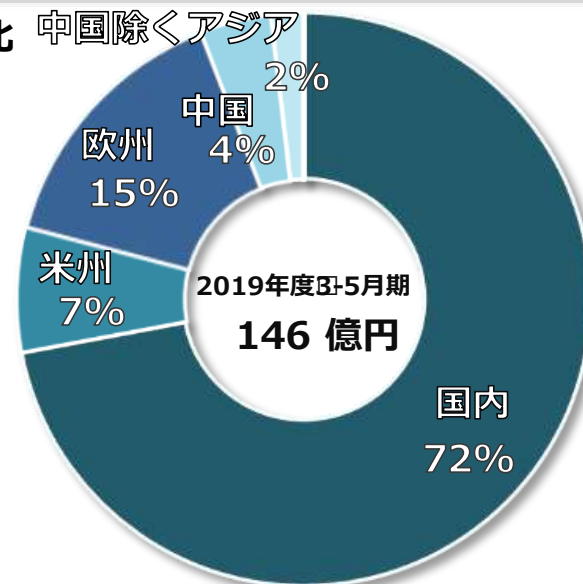
【営業損益】

- 事業再編を通じた経費削減効果などにより採算性は改善

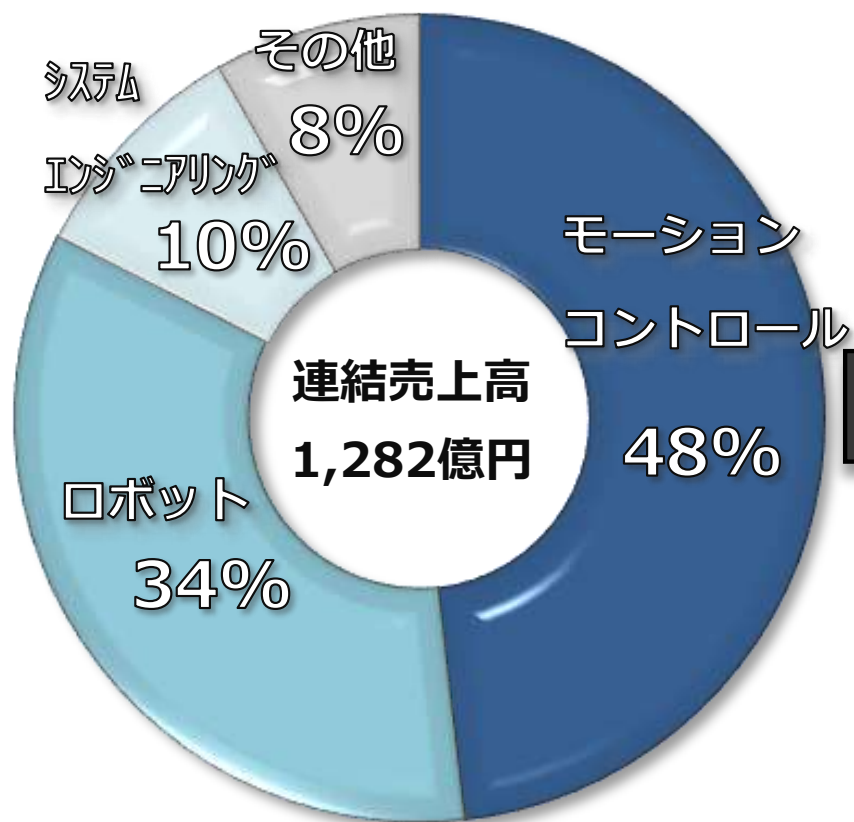
営業損益(億円),営業損益率(%)



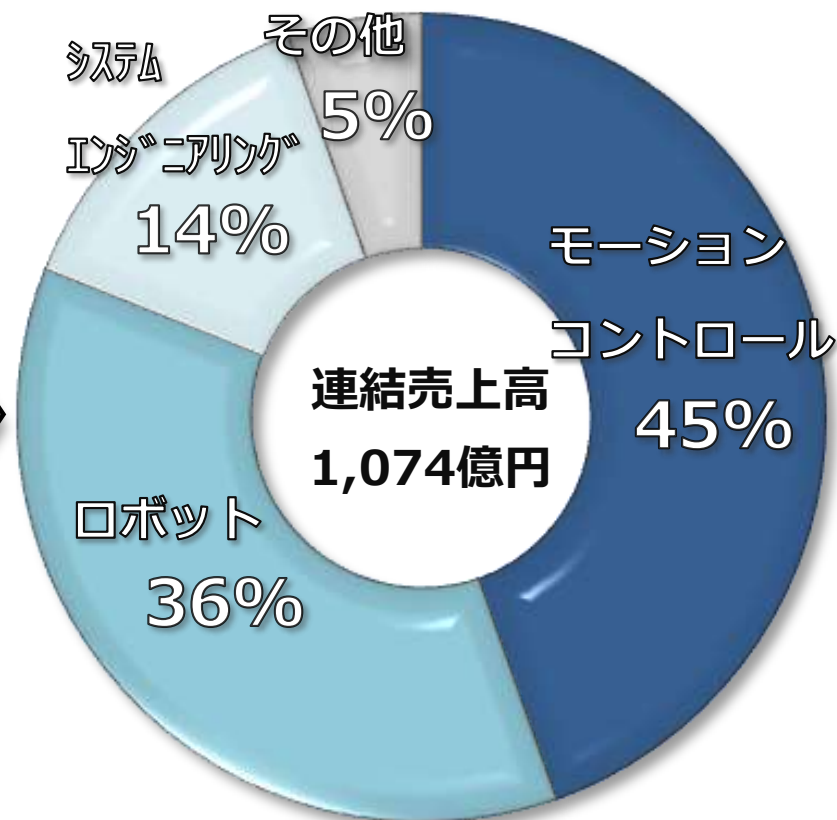
仕向先別売上高構成比 中国除くアジア



2018年度3-5月期



2019年度3-5月期



仕向先別売上高（2018年度 3-5月期 → 2019年度 3-5月期）

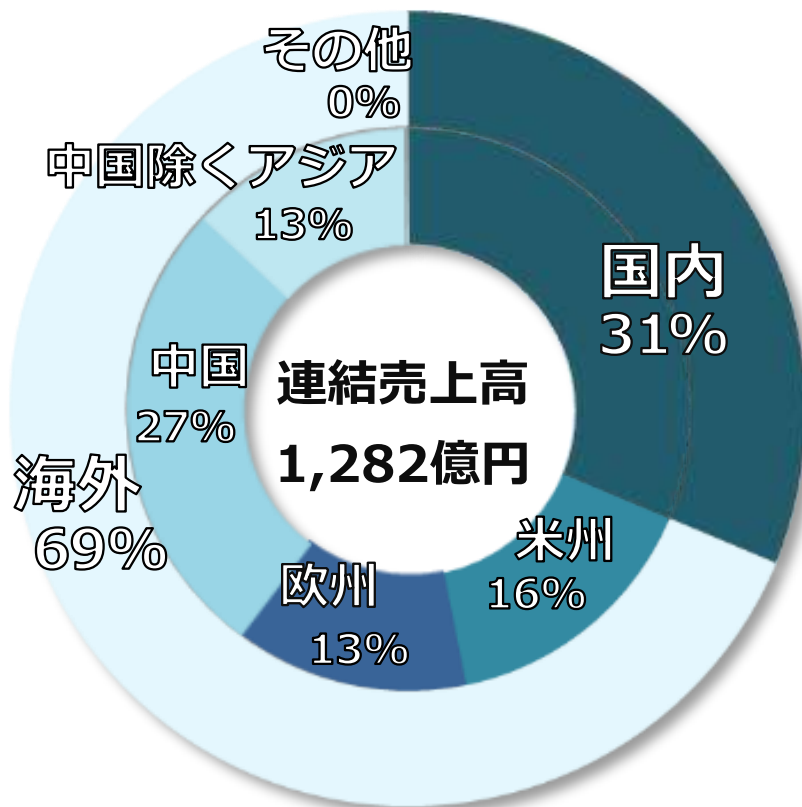
● 中国・アジアを中心に減少

(単位：億円)	2019年度 3-5月期	2018年度 3-5月期	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売上高	1,074	1,282	▲208	▲16.2%
国内	376	402	▲26	▲6.4%
海外	698	880	▲182	▲20.7%
米州	188	198	▲10	▲5.1%
欧州	161	172	▲12	▲6.9%
中国	240	342	▲102	▲29.9%
中国除くアジア	108	165	▲57	▲34.5%
その他	2	2	▲0	▲23.9%

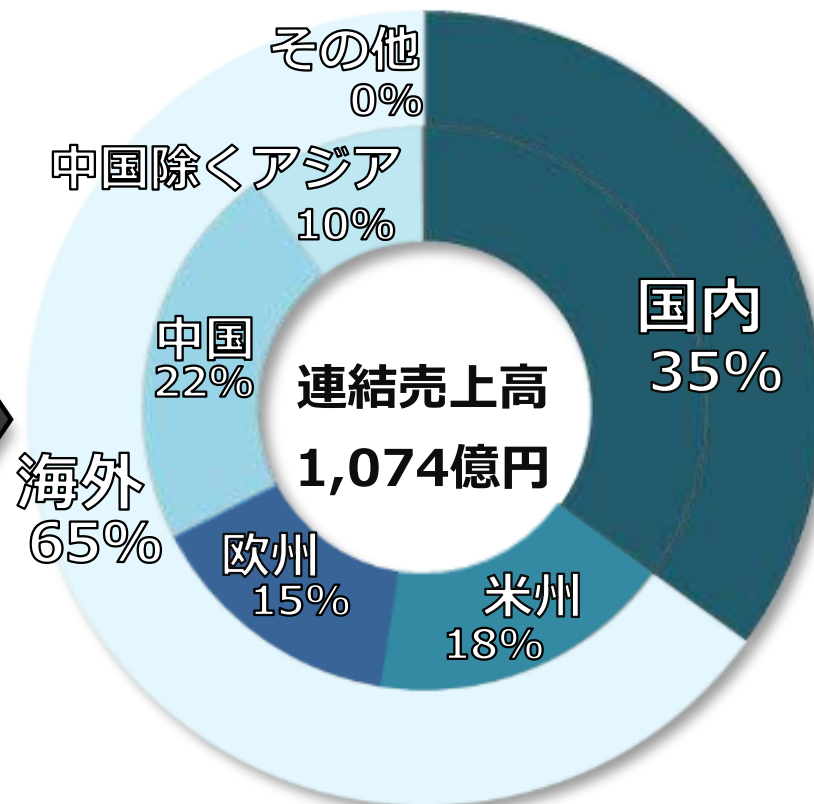
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

仕向先別売上高構成比

2018年度3-5月期



2019年度3-5月期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2018年度3-5月期 → 2019年度3-5月期）

（単位：億円）

2018年度
3-5月期

172

為替影響

▲4

売上減による
利益減

▲75

付加価値減

▲19

経費増

▲3

2019年度
3-5月期

72

▲100

2019年3-5月期における取り組み

➤ 社会の持続的成長と企業価値向上に向けた取り組み

➔ 長期経営計画「2025年ビジョン」の見直しと中期経営計画「Challenge 25」の発表

- ・ i^3 -Mechatronicsを軸に、事業ドメインを「工場自動化・最適化」領域と「メカトロニクス応用領域」に再定義
- ・ ESGなど非財務情報の拡充と取り組み強化

➔ グリーンアジア国際戦略総合特区(福岡県)の指定法人に指定(3回目)

- ・ 環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築(安川テクノロジーセンタ(仮称))に向けた取り組みを加速



安川テクノロジーセンタ(仮称) 完成イメージ図

➤ ロボットのラインアップ強化

➔ 人協働ロボット「MOTOMAN-HC10DT」

防じん・防滴仕様タイプを販売開始 (19年7月)

- ・ 過酷な環境においても人協働ロボットの導入が可能

➔ 新型多用途適用型ロボット

「MOTOMAN-GP20HL」を発売開始 (19年6月)

- ・ シーリング用途など様々な分野の自動化に貢献



2. 2019年度 通期 連結決算見通し

2019年度 通期見通し（連結）

●通期決算発表時(2019/4/11発表)の通期見通しを据え置く

	2019年度	2018年度	前年度比	
	予想	実績	増減額	増減率
売上高	4,650億円	4,746億円	▲96億円	▲2.0%
営業利益	465億円	498億円	▲33億円	▲6.6%
経常利益	480億円	508億円	▲28億円	▲5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	350億円	412億円	▲62億円	▲15.0%

3. 参考資料

セグメント変更による過年度の組替表示（2018年度実績）

- 2019年度より、従来システムエンジニアリングに含めていた、安川モートル社のPMモータ事業などをモーションコントロールに移すなど、セグメント区分を変更

2018年度（セグメント変更後）								変更 影響額 (通期)
(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	1,282	1,200	2,482	1,131	1,133	2,264	4,746	-
モーションコントロール	618	560	1,178	503	452	955	2,133	+78
ロボット	439	443	882	436	462	898	1,780	-
システムエンジニアリング	119	115	235	124	158	282	516	▲78
その他	106	82	188	68	62	130	318	-
営業利益	172	133	305	111	81	193	498	-
モーションコントロール	124	99	224	73	46	119	342	+3
ロボット	50	42	92	44	37	81	173	-
システムエンジニアリング	▲4	▲3	▲7	1	3	4	▲3	▲3
その他	6	▲0	6	▲1	0	▲1	4	-
消去または全社	▲5	▲5	▲10	▲4	▲5	▲9	▲20	-

仕向け先変更による過年度の組替表示（2018年度実績）

- ・ 2019年度より、管理区分の見直しを行い、仕向け先の国・地域の分類を変更
- ・ 「その他」に含めていた中近東およびアフリカの実績を「欧州」に移行する
- ・ 「中国除くアジア」に含めていた香港の実績を「中国」に移行する

2018年度（セグメント変更後）								変更 影響額 (通期)
(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	1,282	1,200	2,482	1,131	1,133	2,264	4,746	-
国内	402	384	786	353	406	760	1,545	-
海外	880	816	1,697	778	727	1,504	3,201	-
米州	198	212	410	223	216	439	849	-
欧州	172	170	343	195	167	361	704	+39
中国	342	266	608	230	197	426	1,034	+32
中国除くアジア	165	167	333	129	147	277	609	▲32
その他	2	1	3	1	1	1	4	▲39

設備投資,研究開発費の状況,為替レート・感応度

設備投資,研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	2019年度 (計画)
設備投資額	196.9	356.5	300.0
減価償却費	126.9	143.1	150.0
研究開発投資	190.7	207.9	210.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位: 円)

	2017年度 (実績)			2018年度 (実績)			2019年度 (想定)	
	4-6月期	上期	通期	3-5月期	上期	通期	3-5月期 (実績)	通期
対 米ドル	111.9	111.5	111.5	107.8	109.3	110.5	111.0	110.0
対 ユーロ	120.9	124.4	128.8	130.9	129.9	128.9	124.7	125.0
対 元	16.25	16.35	16.71	17.05	16.81	16.56	16.38	16.50
対 ウォン	0.099	0.099	0.099	0.101	0.100	0.100	0.096	0.100

為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額 (2019年度,通期)	
	売上高	営業利益
米ドル	約 9.4	約 2.3
ユーロ	約 7.5	約 1.8
元	約 10.6	約 2.6
ウォン	約 3.1	約 2.0

B/S 構造の推移

2019年2月28日時点

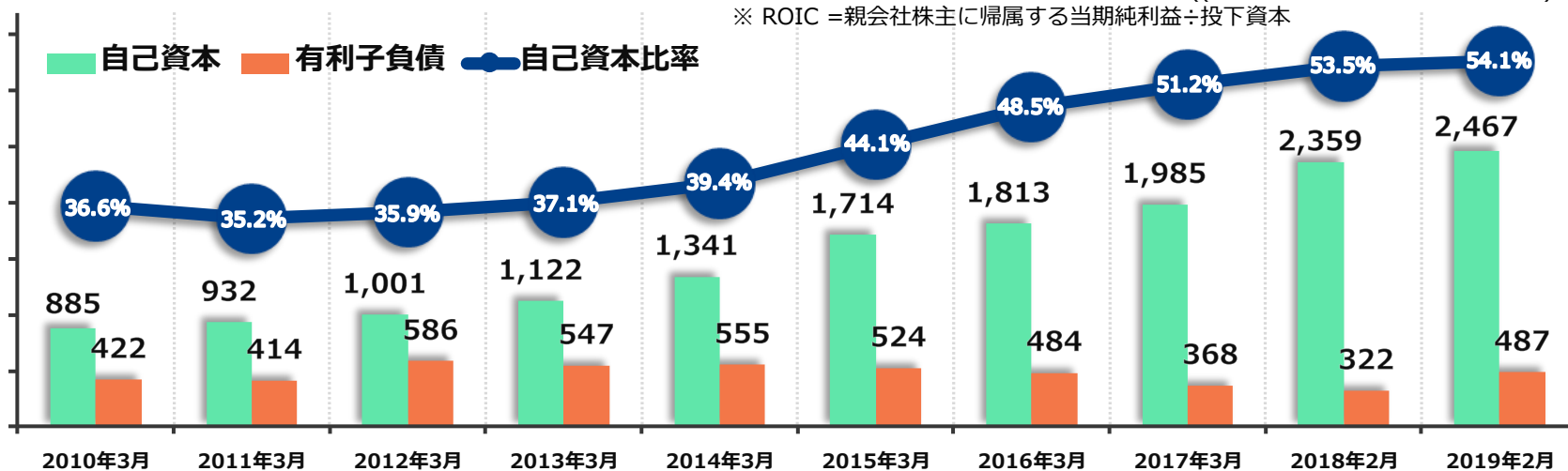
- 自己資本比率 54.1%
- 自己資本 2,467億円
- 有利子負債 487億円
- D/Eレシオ 0.20
(ネットD/Eレシオ) 0.04
- 棚卸資産 1,115億円
(回転月数) (2.8ヶ月)
- ROE 17.1%
- ROIC 17.2%

2019年5月31日時点

- 自己資本比率 52.1%
- 自己資本 2,301億円
- 有利子負債 547億円
- D/Eレシオ 0.24
(ネットD/Eレシオ) 0.08
- 棚卸資産 1,084億円
(回転月数) (3.0ヶ月)

※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数の計算には棚卸資産の期末値を使用
 ※ ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ ((前期末自己資本 + 当期末自己資本) ÷ 2)
 ※ ROIC = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 投下資本

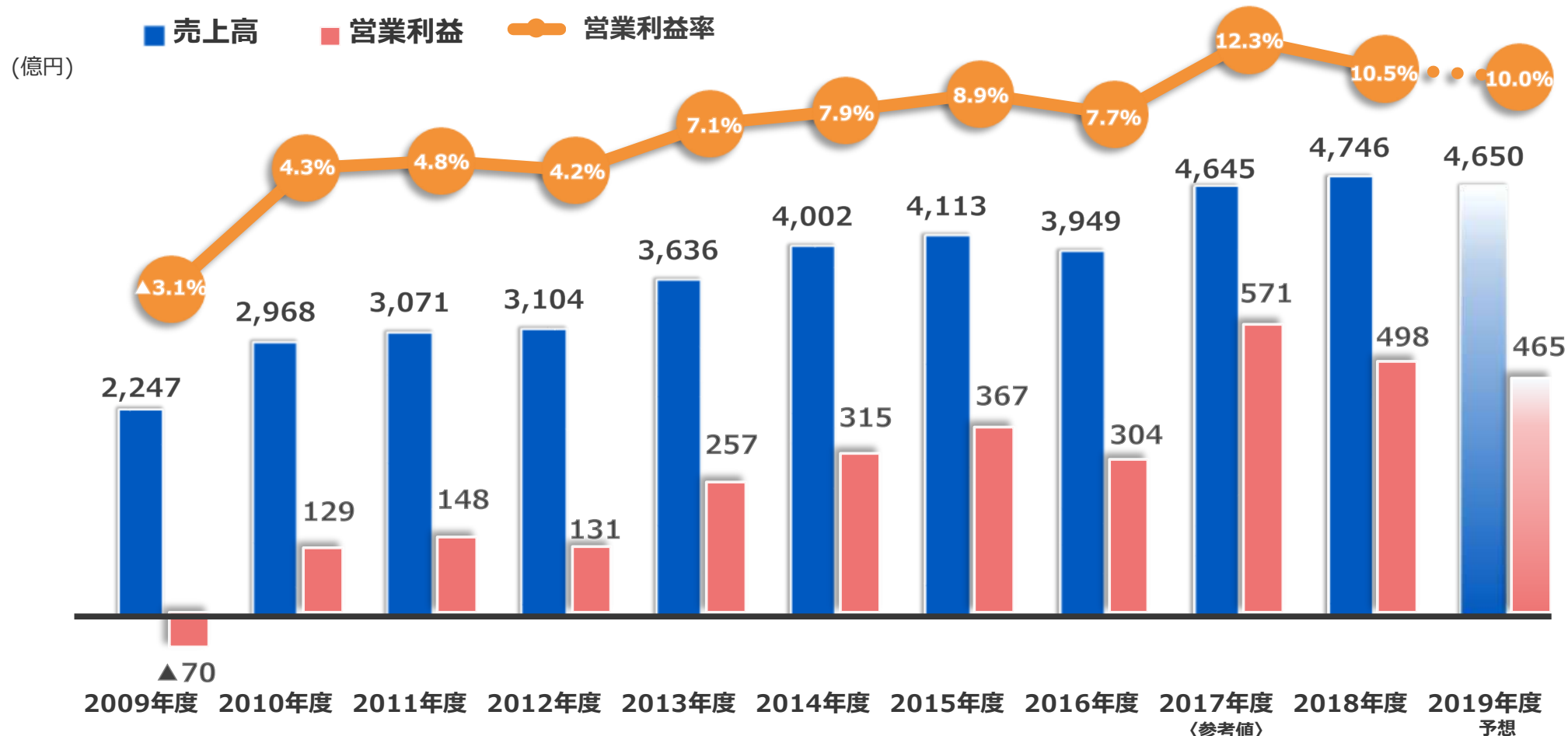
(億円)



(億円)

	2010年3月	2011年3月	2012年3月	2013年3月	2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年2月	2019年2月
営業CF	40	25	64	246	240	290	320	338	461	328
投資CF	▲ 65	▲ 67	▲ 119	▲ 181	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271
フリーCF	▲ 24	▲ 43	▲ 55	66	70	11	95	148	272	57

連結売上高・営業利益推移（2009年度～2019年度予想）



Challenge 100

Realize 100

Dash 25

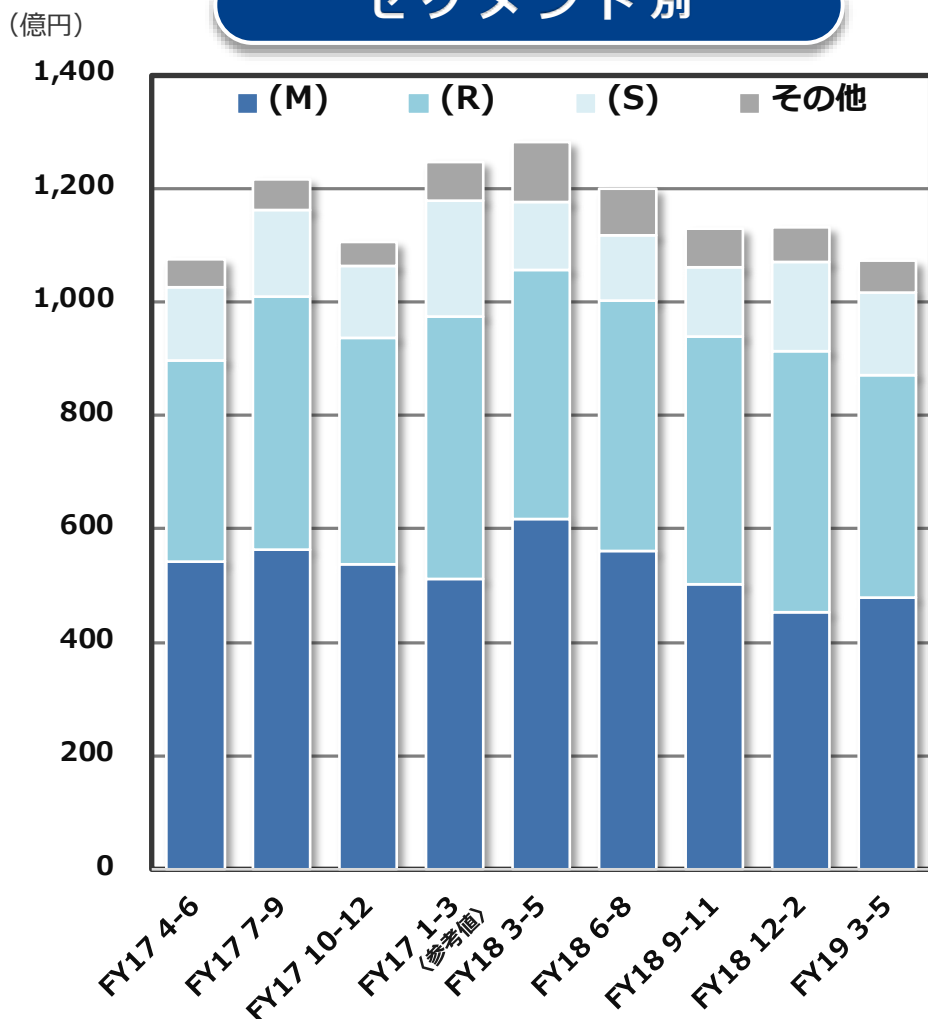
Challenge 25

中期経営計画

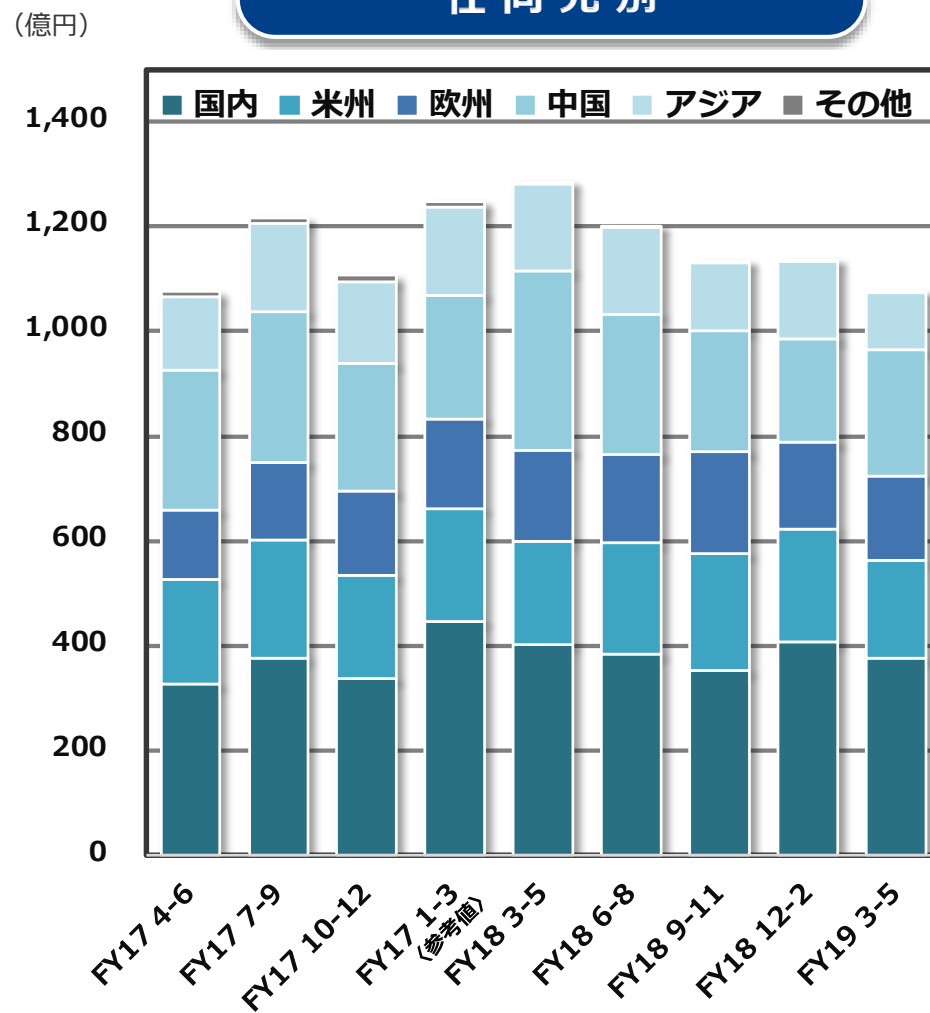
[注] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期連結売上高推移

セグメント別



仕向先別



[注. 1] FY17 1-3のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

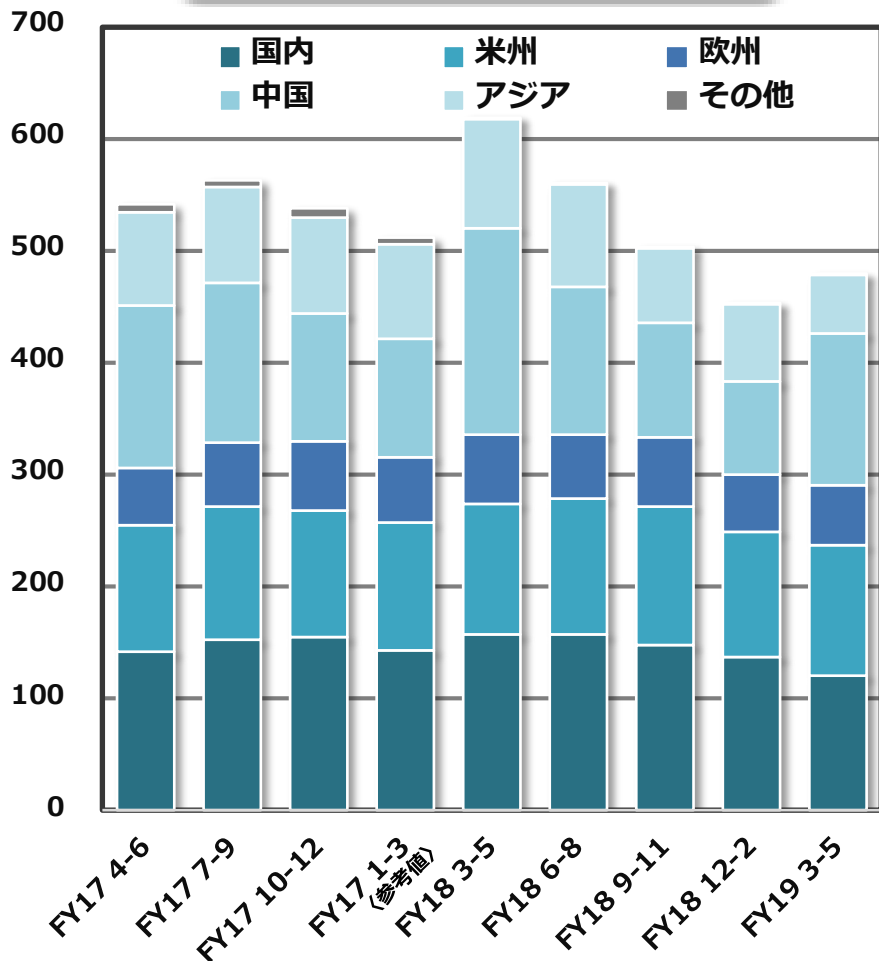
[注. 2] FY17のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向け先の分類) 見直し前の数値を使用

[注. 3] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期連結売上高推移

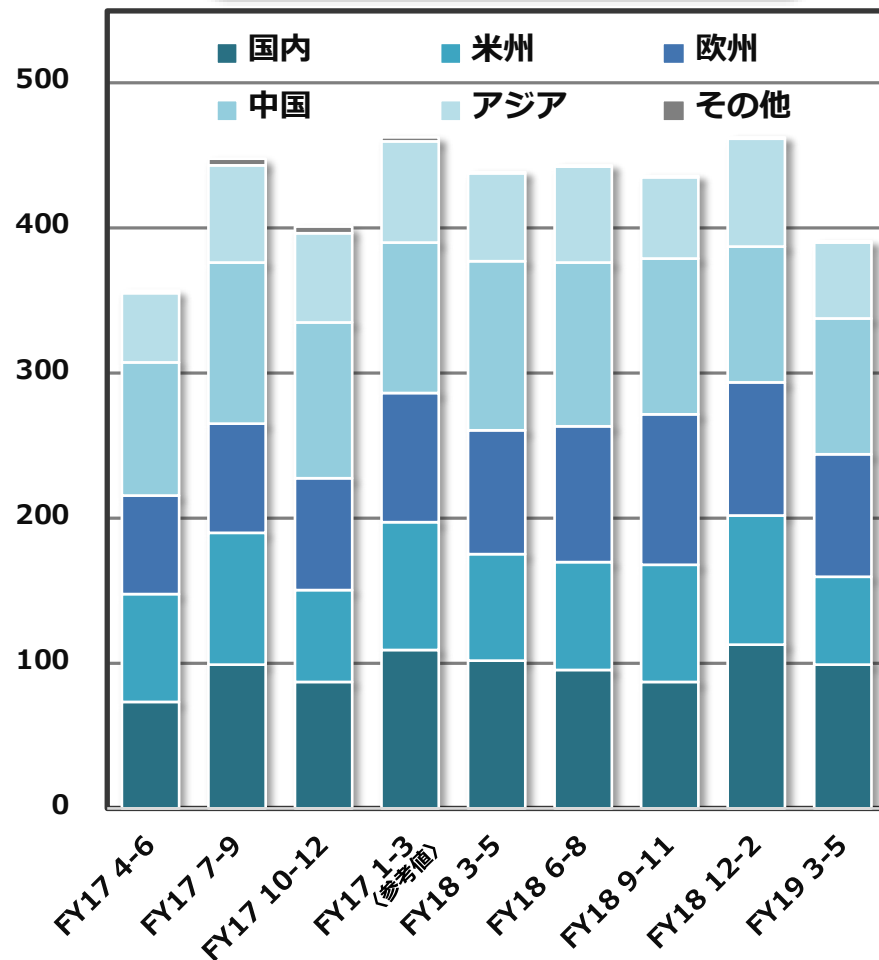
モーションコントロール

(億円)



ロボット

(億円)



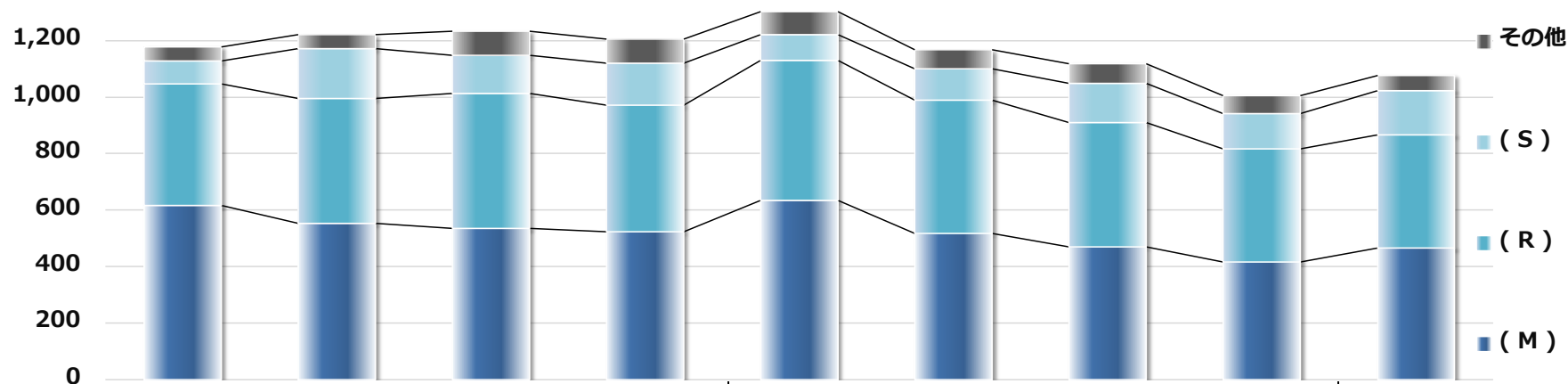
[注. 1] FY17 1-3のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注. 2] FY17のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向け先の分類) 見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用

(億円) 1,400



		FY2017				FY2018				FY2019
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 《参考値》	3-5月期	6-8月期	9-11月期	12-2月期	3-5月期
全社	YoY	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%	▲17%	▲17%
	QoQ	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%	▲10%	+7%
YoY	(M)	+39%	+31%	+17%	+5%	+3%	▲7%	▲12%	▲20%	▲26%
	(R)	+14%	+31%	+25%	+24%	+15%	+7%	▲8%	▲10%	▲19%
	(S)	▲59%	+33%	▲10%	+24%	+14%	▲37%	+4%	▲17%	+70%
QoQ	(M)	+23%	▲10%	▲3%	▲2%	+21%	▲19%	▲9%	▲11%	+12%
	(R)	+19%	+2%	+8%	▲6%	+11%	▲4%	▲7%	▲9%	▲0%
	(S)	▲33%	+118%	▲23%	+11%	▲39%	+20%	+27%	▲11%	+26%
為替 レート	円/ドル	111.9	111.1	112.2	110.7	107.8	110.8	112.7	110.6	111.0
	円/ユーロ	120.9	127.9	132.4	134.2	130.9	128.9	129.6	125.9	124.7

[注.1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

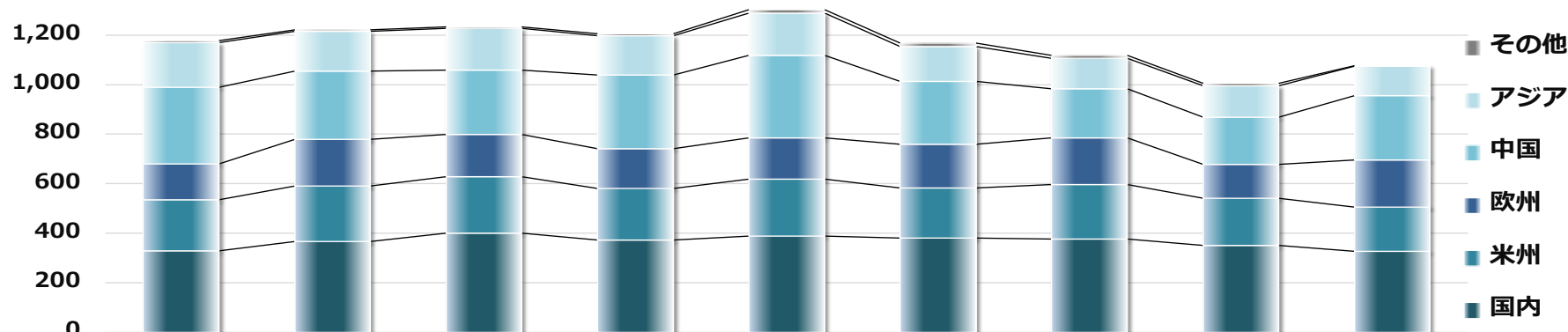
[注.2] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.3] FY2017のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向け先の分類) 見直し前の数値を使用

四半期連結受注推移（仕向先別）

※為替は期中平均レートを使用

(億円) 1,400



		FY2017				FY2018				FY2019
		4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 〈参考値〉	3-5月期	6-8月期	9-11月期	12-2月期	3-5月期
全社	YoY	+8%	+29%	+18%	+16%	+10%	▲4%	▲9%	▲17%	▲17%
	QoQ	+13%	+4%	+1%	▲2%	+8%	▲10%	▲4%	▲10%	+7%
YoY	国内	▲15%	+23%	+18%	+12%	+18%	+4%	▲6%	▲6%	▲15%
	米州	+15%	+9%	+17%	+0%	+11%	▲10%	▲5%	▲10%	▲23%
	欧州	+2%	+73%	▲0%	+25%	+16%	▲6%	+11%	▲15%	+14%
	中国	+36%	+34%	+38%	+47%	+8%	▲8%	▲23%	▲35%	▲22%
	アジア	+27%	+40%	+20%	+1%	▲6%	▲13%	▲28%	▲21%	▲30%
QoQ	国内	▲1%	+12%	+9%	▲7%	+4%	▲2%	▲1%	▲7%	▲7%
	米州	▲1%	+8%	+2%	▲8%	+10%	▲12%	+8%	▲14%	▲6%
	欧州	+13%	+30%	▲9%	▲6%	+5%	+5%	+8%	▲28%	+39%
	中国	+53%	▲11%	▲6%	+15%	+12%	▲24%	▲21%	▲4%	+35%
	アジア	+15%	▲10%	+5%	▲7%	+7%	▲17%	▲13%	+3%	▲5%

[注.1] FY2017 1-3月期のデータは、対象期間を2017年12月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

[注.2] FY2017のデータは、セグメント区分および管理区分(仕向け先の分類) 見直し前の数値を使用

主要生産拠点



YASKAWA